



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

J R東日本労働組合  
発責 組織情宣部  
2024年3月4日 No.741

## 社員が損する「第二基本給」の廃止を実現しよう

### 第二基本給とは

「入社時第二基本給」と、入社後の賃金改訂および定期昇給による基本給増加額の30%を累計した合計額をいいます。

J R東日本が発足した今から37年前の1987年(昭和62年)に導入された制度です。当時は赤字経営が予測されるなど、いまほど盤石ではない経営体力を背景に、社員の退職金が経営を圧迫することを避ける目的で生まれました。

J R東日本入社以降、賃金が増加した分の30%は「第二基本給」に累計されていきます。その累計された「第二基本給分」を「退職手当算定基礎給」から減じるため、退職金の支給額がとて低く抑えられてしまう制度です。

## 賃金上がるたびに「退職金」が減っていく

### 発令通知書

(発令事項)

基本給月額 ○○○円を給する

賃金改訂 基本給月額 ○○○円となる

第二基本給 ●●●●円 (累計額 ●●●●●円)

「第二基本給」は賃金改訂時の「発令通知書」に累計額を含めて記載されています

### <退職手当の計算式> ※計算例(定年退職を迎えた社員の場合)

55歳時点の基本給 第二基本給累計額 退職手当支給率 退職手当金額

$$(38 \text{ 万円} - 7 \text{ 万円}) \times 60.0 = \underline{1,860 \text{ 万円}}$$

第二基本給を廃止すれば  $38 \text{ 万円} \times 60.0 = \underline{2,280 \text{ 万円}}$  **その差420万円**

## 会社は社員にどのように説明しますか？

## 平成・令和採用の社員はこの制度に納得できますか？